

■ 第 2 回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議 意見概要

意見分類	意見内容	意見から導き出される論点	対応
イメージ図 方針図	・吹き出しのデザインを検討してほしい。	・市民により伝わりやすい表現をする必要がある。	・【構想案 P 1】 ・吹き出しのデザインを変更。
	・駅周辺における面としての空間ビジョンのイメージを 3 次元のイラストや鳥瞰図で作成すれば、西鉄久留米駅を中心とした 500m 圏内が目指すビジョンがより伝わりやすくなるのではないか。		・【構想案 P 2】 ・下図を 3 次元のイラストに変更。
方針 1： 交通結節	・バスターミナル整備のイメージ図における待合空間について、路線バスは立って待つことになるので、イメージと一致していない。路線バスが主になるので、自分が乗りたいバスに乗りやすい待合空間イメージの表現にした方がいいのではないか。	・市民により分かりやすい表現をする必要がある。	・【構想案 P 9】 ・構想では、バス待合空間の環境改善を実施する概略イメージを示しつつ、詳細な空間構成およびイメージについては、今後、具体の検討を実施。
	・東口にもバスの寄付きが可能になれば、渋滞緩和やバス遅延の縮小につながる。	・将来を見据えた交通結節機能の再編が必要。	・【構想案 P 9】 ・詳細な空間構成については、今後、具体の検討を実施。
	・「周遊しやすい交通網の形成」として、全国的には循環バスやトランジットモールが取組が進められているので、事例を追加してはどうか。	・具体的なイメージを共有できるような事例が必要。	・【構想案 P10】 ・循環バスの事例を追記。
方針 2： めぐりたく なるまち	・「広域道路交通ネットワークの再編」環状道路整備の状況図については、渋滞箇所、整備時期を追記してはどうか。	・環状道路の整備により、渋滞箇所が変化していくことを市民に認識してもらう必要がある。	・【構想案 P13】 ・渋滞箇所を追記。整備時期は、用地交渉中で不確定のため、記載しない。
	・西鉄久留米駅周辺の渋滞解消の取組も継続して実施した方が良い。 ・駅東側の歩道が狭くて自転車が歩道を走って危ない、車道を走ると車が追い越せずに渋滞の原因になるといった問題がある。	・適切な道路空間を確保する必要がある。	・【構想案 P13、14】 ・環状道路の整備促進などにより、まちなかの通過交通の抑制を目指す。 ・道路整備にあたっては、道路管理者、交通管理者と協議を実施する。
	・歩行者や自転車を中心としつつも、駅周辺の道路は一方通行等の交通規制が多いので、自動車が行き来できて最低限離合できる道路整備が必要。		
	・自転車通行帯が車道にあると路上駐車の原因にもなるため、自転車専用道も検討してほしい。		
	・事業化にあたっては、無電柱化もどこかに記載しておいた方がいいのではないか。	・整備の可能性がある事業は記載する必要がある。	・【構想案 P14】 ・無電柱化の推進について追記。
	・長崎市などのような景観をコーディネートできるシステムなど、景観についても少し踏み込んだ記載をしたらどうか。 ・「風格のある」という表現ではなく、久留米の伝統的なデザイン要素等を整理できるといいのではないか。	・まちづくりにおける景観は重要であるため、駅周辺の景観をよくすべき。	・【構想案 P14】 ・良好な景観形成を行うためのルールづくりについての方向性を記載。 ・久留米の伝統的なデザイン要素等を整理して記載。
	・車利用に慣れている人をどのようにまちなかに誘引していくのが重要。 ・ポートランドの事例は、地区協定等により 1 階は店舗にするというルールになっており、2 階以上を立体駐車場にしていることで自転車利用の方々も見捨てていない点にある。そのように事例をわかりやすく提示してほしい。	・車社会であることを踏まえて、車利用者のことも考える必要がある。	・【構想案 P15】 ・ポートランドの事例を具体化・再整理し、記載を変更。

方針２： めぐりたく なるまち	・天神町公園について、西鉄久留米駅利用者が公園をどう使うのか、どういう賑わいをつくるのかということについて、もう少し踏み込んだ方が分かりやすくなるのではないか。	・公園などの空間を有効活用することで、まちの活性化につながるのではないかな。	・【構想案 P16】 ・Park-PFI 制度などの活用による賑わいのある公園空間の創出について追記。
	・構想案 p20 「ひと・もの・こと」の説明があった方が良いのではないかな。	・市民により分かりやすい表現をする必要がある。	・【構想案 P 5】 ・「ひと・もの・こと」に関する内容を追記。
方針４： 地域の価値	・災害時を見据え、歩行動線の流れをしっかりとる、左側通行を徹底すると言った記載があるといいのではないかな。	・駅利用者などの災害時の避難誘導の視点も整理しておくべき。	・【構想案 P21】 ・災害時の円滑な避難に関する方向性を 追記。
	・久留米市のデスティネーションイメージをはっきりさせて、駅にもそれを活かしたものがあるといいのではないかな。	・駅周辺の歴史的な建築物や観光資源をどのように活かしたまちづくりを行うのか検討が必要。	・【構想案 P23】 ・市内の魅力的な施設への誘導を図るため、情報発信機能の強化に関する内容を 追記。
	・まちの入口としての西鉄久留米駅だが、賑わいが駅で終わるのではなく、そこから久留米市のいたるところに足を運んでいただくことが必要。		
	・市民だけではなく、来街者が何を求めて久留米市に来訪しているのか引き続き研究が必要。		
	・インフォメーション機能の強化も必要ではないかな。		
	・周辺の歴史的な建築物や観光資源の PR が必要で、さらに公共交通機関を使った市中心部への流れをつくってほしい。		
その他	・駅から降りて、久留米シティプラザの玄関口のような雰囲気づくりを含めて整備してほしい。	・行政だけではなく官民一体となった取組が必要ではないかな。	・構想案 P24 に記載済。
	・民間活力が入ってくるようなまちづくりの方向性を示すべき。		
その他	・構想をどのように実現させていくのか体制などの説明もあつた方がいいのではないかな。	・誰がどのようなことをやっていくのか、どのように構想を実現していくのか等まで記載して、市民により伝わりやすくすべきではないかな。	・構想から事業実施にあたっては、今後、具体の検討を実施。
	・交通マスタープランの見直しも併せて行うべきではないかな。	・駅周辺だけではなく、全体的な交通まちづくりの検討が必要ではないかな。	・交通政策部局と連携した構想とする。